



全労連青年部ニュース

# YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

## 第五回ユニアカ、笑顔と元気にあふれる！

全労連青年部主催の「2009 ユニオン・ユース・アカデミー」が、4月25日(土)～26日(日)まで、開催されました。全国から、青年部や青年ユニオンの仲間が60名集い、学習と交流、そして模擬団交づくりにチャレンジしました。



班ごとに「最近腹がたったこと」を書いて、自己紹介交流

## つながる、たたかう、ささえあう、青年部づくり

1限目の講義は、全労連青年部の野村書記長による、学習と交流。世界情勢を「もしあなたがアフガニスタンにうまれていたら」など、自分にひきつけて考える内容でした。また、学習の間にゲーム形式の班討論をおこないました。フリップボードをつかい「最近、腹が立ったことは？」「もし一日総理大臣になったら、なにをする？」など、単なる自己紹介の交流にとどめず、自分の意見を出し合いながら楽しく討論できました。

## はじめての模擬団交づくり…うまくできるかな？

2限目は、班ごとに「模擬団交づくり」をおこないました。給与明細をもとに問題点を推理し、寸劇を班ごとにつくります。起承転結で分担し、4班で1つのストーリーを完成させます。模擬団交をとおして、相手の側に実際にたってみて考えること、また楽しく学ぶことが目的です。セリフの分析や、自分の体験にもとづいたアドリブが飛び出し、中にはギャグや冗談も勝手に(?)盛り込むなど、練習に花がさきました。

## 派遣切りとたたかう青年の発言に勇気をもらった



夜の交流会では、派遣切りとたたかう長崎のワールド・インテック分会の青年が発言、勇気あるとりくみに会場いっぱいの拍手がわきおこりました。参加者から「自分と同じような『普通の青

年』が、こんな風にたたかっているのかとはじめて知り、感激しました。この問題は、日本中どこでも同じですよ」と感想が寄せられました。

また、JMIU 神奈川いすゞ分会の三浦さんは「なんでこんなに頑張っているか」というと、ただ、ただ仕事が好きだからです」と発言。実直な言葉に参加者から「胸を打たれた」と共感の声が広がりました。また、来賓として、日本民主青年同盟の田中委員長が挨拶にたち「青年の人間性をとりもどすたたかいが始まっている。」と、各地での青年雇用集会の枠組みでの共闘関係の発展を訴えました。急きょ駆けつけてくれたのは首都圏青年ユニオン・美容師分会の柳さんから「勝利和解を勝ち取りました」と喜びの報告がされました。

## めざまし体操で、朝から 元気にストンプ！



2日目の3限目では、映演労連のマッスルミュージカル分会から、深澤委員長と、ダンサーのSHOWさんにお越しいただき、日頃の肩こりや腰痛などを予防するストレッチと簡単なマッサージを教えてくださいました。その後、会場の参加者と一緒にストンプ（体を打ち鳴らしてリズムを合わせるパフォーマンス）を練習、すてきな演舞と参加者とのかけあいで盛り上がりました。

## 中田進さんの講演に知的刺激…しゃべるぞ！

4限目は、関西労教協の中田進さんにお越しいただき、「自分らしく 働くこと 学ぶこと」を

講演していただきました。軽快なトークと、参加者を巻き込んでの話しに、（笑いながらも）学ぶことの重要性が改めて心に染みわたりました。講演で「学習して得たことを、胸の奥にしまっておくのではなく、しゃべりまくって、伝えることが大切」との話しに、参加者も納得。感想文の多くが「しゃべるぞ！」という決意にあふれていました。



## 苦戦？善戦？模擬団交 の発表会で輝く青年たち



ユニアカの最後は、全員参加を原則に、班ごとにリレー形式で寸劇を発表しました。第1話の「豆腐屋さんでの労組結成と団体交渉」、第2話の「既存の労組での、派遣労働者の組織化と長時間残業問題の解決」を演じ発表しました。

きわどい設定に会場から爆笑がおこったり、失敗には会場からエールがかけられたりと、会場と演者が一体となって行われました。

参加者からの感想では「おもしろい」「突き詰めると奥が深い問題だよ」「職場にいると考えないような労基法のことを真剣に考えられた」など、寄せられました。

## ブロック別の地域交流昼 食会で、メアド交換♪

閉会后、お弁当をたべながら組織の枠を超えて

のブロック交流昼食会をおこないました。「雪国ゆえの悩み」（北海道・東北）や「サマーセミナーの取り組み」（東海北陸）など、地方ごとの特色に飛んだ経験交流を行いました。

## 靖国平和ツアーに17

### 名参加…感動の閉幕

オプション企画として、新宿平和委員会の長谷川さんにガイドをしていただき、靖国神社と遊就館の見学をおこないまし



た。日本の歴史をおいながら見ていくなかで、第二次世界大戦のところでみな、足が止まりました。多くの青年が戦地に駆り出され、それに対する反省がないことから、参加者からは「現代の派遣切りも、戦時中の徴兵も、青年を使い捨てる考え方では、まったく同じ」との声がもれました。

二日間をとおして、参加いただいたみなさんに、あらためて感謝を申し上げたいと思います。いただいた感想文に多かったのは「青年部をうちにも作りたい」「青年部は楽しい」という声でした。本当にうれしい限りです。これからも全労連青年部常任委員会が一丸となって奮闘していきたいと思ひます！

## 09 最賃 T シャツをデザイン！徳重さんにインタビュー

今年の全労連青年部の最賃 T シャツのデザインをした徳重直子さんに話を聞きました。



Q、今回、最賃 T シャツをデザインした時のコン

### セプトは？

A、はじめは厚労省前で仲間のみなさんが、T シャツを着て座り込みをしている姿を想像していたのですが、それも大切だけど、それぞれの職場や地域、プライベートでも着られるようなデザインにしようと考えました。

私、昨年の夏に京都の地域ユニオン“南の風”に入ったのですが、入る前は『最賃』という言葉を知りませんでした。だから、私みたいな知らない人にも、もっと最賃の低さを知らせないと、と強く思いました。

### Q、何故、ユニオンに入ったのですか？

私は以前、T シャツをデザインする会社で働いていました。しかし、そこで殴られたり、雨の中、何時間も立たされたりといったパワハラを受けて、それで知り合いに紹介されて入りました。今、裁判で闘っているんですが、毎回、傍聴席の3倍もの人に来ていただいて、労働組合って温かいなァって思っています。

現在は、京都の和菓子屋でアルバイトをしていますが、このご時世で週3日時給900円でしか働けなくて…。だから、この最賃の運動は自分にもすごく関係するので、頑張りたいです。今後はカエルが大好きなんで、最賃カエル・・・世の中カエルみたいなデザインといった具合で運動に参加できたら嬉しいです。



全国に発送しています最賃 T シャツ！

<以上>